

学院通信 第288号

## 徐々に戻る あたりまえと思っていた日常

終わりの見えないコロナの日々。真っ暗なトンネルの中にいる私たち。でも世界は歩みを止めません。ワクチンの開発が進み、イギリス国民の70%以上が2回の接種を済ませ、3回目のブースター接種も始まりました。

そしてここ立教も、感染対策を入念に行いながら、2学期は少しずつ元の生活へと戻っていきました。みんなが大好きなアウティング、フライデースポーツ、そしてオープンデイも。

突き抜ける秋空と共に、「あたりまえ」という奇跡と、感謝の思いを感じながら、一日一瞬を精一杯過ごした立教生たちでした。

### Contents...

- |          |                           |            |                    |
|----------|---------------------------|------------|--------------------|
| * アウティング | * フライデースポーツ               | * オープンデイ   | * <i>Halloween</i> |
| * 全校写真   | * <i>Christmas dinner</i> | * ロボットクラブ  | * 小学部ミニアウティング      |
| * キャロリング | * スクールコンサート               | * 第2学期終業礼拝 | * オフショット           |



# Christmas Message From Headmaster

This year has proved to be every bit as challenging as 2020 but we have worked together as a school – with staff, parents and pupils all working very hard and adapting to the new ways of working remotely during lockdowns. I am extremely grateful to everyone for their dedication and support in keeping the School running smoothly through such difficult times.

With Covid cases rising at the start of 2021, a quick decision was taken to close the School to students from January to March and move to online learning once again. The improved ICT facilities have helped enormously with this. This year our Graduation Ceremony in March was held via Zoom.

Thankfully by the start of term in April we were able to welcome students back to the School and life at Rikkyo has gradually started to return to normal.

Our annual Japanese Evening was held as an online event this year, organised by the Student Council. Hopefully we will be able to invite members of the local community and pupils from other schools back to Rikkyo for this cultural event next May.

In October the students enjoyed their first school outing in over a year, taking trips to Cambridge, Oxford, Hampton Court Palace, Arundel Castle and Littlehampton.

During the autumn term we were able to resume Friday sports activities and also arranged various sports fixtures with other schools. The School loaned its football pitches for use by Loxwood Junior Football Club this year, giving some of our own keen football players the opportunity to train alongside them at weekends. It has been great for our students to engage with other schools and clubs again.

We are always keen to establish links between Rikkyo and British schools. The newly formed “Rikkyo Robotics Club” built an automatic sanitiser machine, a crane game and a sumo wrestling machine for local children to play with at Open Day. And in November the club presented their creations to staff and DT students at Royal Grammar School (RGS). These were well received and the club will be starting a collaborative project with the DT class at RGS next term.

Rikkyo School continues to develop its links with Collyer's College in Horsham and this year H1 and H2 students having online Nutrition lessons with Collyer's whilst H3 students have been doing research projects in preparation for University, choosing their own topics and with guidance from Collyer's.

This year we have further developed the School's relationship with local churches and are most grateful to Holy Trinity Church in Rudgwick, St Nicholas in Cranleigh, and St John's Church in Broadbridge Heath for helping with our Sunday services in the absence of a school chaplain. With thanks to help from the Bishop of Horsham's office and local Diocese, the School has also been able to provide Bible study classes for students from the autumn term.

We were very pleased to be able to welcome visitors back to the School for our Open Day which was held on 17 October. There was a good turnout and the students enthusiastically decorated their classrooms with various topics such as Space, Japanese Summer Festival, and Alice in Wonderland. Guests also enjoyed a Kendo demonstration, traditional Japanese tea ceremony, concert and a dance performance.

The Christmas Concert on 2 December was well attended and raised funds of £184 for Shooting Star's Christopher Hospice.

Next year we will be celebrating the School's 50th Anniversary, an important milestone for us. Please make a note in your diary of 9 July for the 50th Anniversary Ceremony and 5 November for a special concert in London. We would welcome your attendance at these events.

I would like to thank you for your support this year and wish you all a Merry Christmas and a healthy, happy New Year.

TORU OKANO  
Headmaster

December 2021



毎学期イギリスの名所旧跡を訪れる「アウティング」。生徒たちも楽しみにしていたこのイベントがコロナ禍で1年以上お預けになっていましたが、今学期それがいよいよ再開！雨続きの昨今、奇跡的に天気にも恵まれ、生徒たちは丸一日たっぷりと「イギリス」を満喫することができました。

高校3年生はロンドンのハンプトンコート、高校2年生はオックスフォード、高校1年生はケンブリッジ、小中学生はアランデル城とリトルハンプトンの海を訪れました。



# 念願の… アウティング



# Student's Essay[Outing]

今回は私にとって立教英國学院に来てから初めてのアウティングでした。久しぶりに外に出れるという嬉しい思いもありましたが、何より英語で話さなくてはならない世界に行かなくてはならないというすごく不安な気持ちもありました。実際にバスに乗って行った最初のサービスエリアでは注文するのがすごく不安で友達に着いて来てもらひながら注文をしました。事前に注文するメニューを決めていったのですが、店員さんが話している内容があまりわからず、ずっとyesと言っていました。これが私の英語がうまくなりたいと思った最初の経験となりました。案内してもらったケンブリッジは様々なコレッジがある事がわかりました。コレッジそれぞれが全く違う背景を持っていて聞いていてすごく興味深かったです。

また次に行ったクリームティーでは美味しい紅茶とスコーンを頂きました。食べ方がわからず小さく切りながら食べていましたが本当は2つに切って食べることをアウティングが終わってから知って次は気をつけようと思いました。夜ご飯を食べるために行ったサービスエリアに行くまでのバスではスコーンをお腹いっぱい食べたせいか、とても眠くて寝てしまいました。そのサービスエリアではスターバックスでラップとソイラテを買いました。そこでも英語がうまく伝わらなかったので結構悔しかったです。立教に帰って来たときにはもうヘトヘトで夜はぐっすり寝れました。今回のアウティングでは英語力のなさに悔しくなった場面が多くて、英語がうまくなりたいなと思えました。

(高等部1年生 女子)

【他の作文へリンク】

[小中学部](#)

[高等部](#)

今回のアウティングで自分が何について楽しんでいたのか、また何を思っていたのかに着目して文章を書いてみました。

アウティングで、観光したお城や教会の中を見て回ることはもちろん楽しいのですが、それだけではあの時ほどの満足感は得られません。一人で観光しても新たな経験や知識、思い出が心に刻まれてそれはそれで楽しいのですが、アウティングはクラスみんなで行くからきっと楽しいのだと思います。班行動がいいとか、男子だけがいいと言う人もいますが、絶対に女子・男子関係なくみんなで行ったほうが楽しいです。

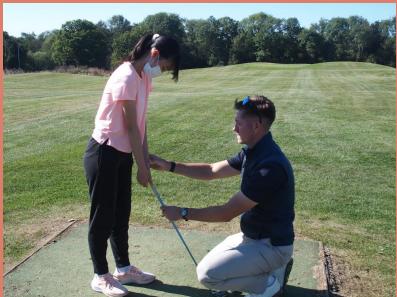
僕がこのように思うきっかけは昼食の時にありました。僕の想像では女子はあまり食べないと思っていたが、男子より食べる子がいたり、僕達男子が見たことのないような一面を見せてくれました。そういうことについて話したりするのもまた楽しかったです。お城を周っているときも同様に、普段女子とは写真を撮らないのに、「写真撮ろう！」と誘ってくれたりして、そういう会話もとても楽しかったです。そして何より、学校の中ではなくアウティングということで更に特別感が増しました。もっとこの時間が続けばと思いました。

帰ってから思いました。「俺青春してない？」

アウティングではたくさん食べるとか観光するとか、そういうことも大事ですが、今いる仲間とさらに親睦を深めてより良いクラスにするためのきっかけにもなると思います。

また次のアウティングが楽しみでたまらないです。

(中学部3年生 男子)



コロナで長らくの間オンライン授業やバブル生活を強いられていた学校生活でしたが、この9月から諸活動が徐々に再開し生徒たちにもわかに活気づいてきました。

毎週金曜日、全校で行われる「フライデースポーツ」も先週から始まり、校内のスポーツ施設はもとより、ゴルフや水泳、ダンスなど、地元の施設の利用も再開しています。

校長先生！

フライデースポーツを開始してくださってありがとうございました。

去年からずっと再開してほしいと先生に職員室まで言いに行った甲斐があって良かったです。

他学年との交流もとても楽しみにしていました。このようにスポーツを通して他学年と交流ができるということがどんなに幸せなことか改めて実感できました。あのフラスプの前に中庭でみんなで並ぶ光景が懐かしくて、もう自分が高3として一番右の列に並んでいるという事実が少し寂しいような感じがしましたが、もとの生活に段々と戻れて、立教に戻ってきて良かったなと思います。

これから食事がみんなで食べられるということでとても緊張していますが、高校3年生として頑張っていきます！

(高等部3年生 女子)

# Friday Sports



# OPEN DAY



昨年度はコロナ禍の為、やむなくWeb-オープンデイという形で行われたオープンデイでしたが、今年は再び地元の方々をはじめ、多くの方々を学校に招いて無事開催することができました。通常のオープンデイを知っている生徒はわずかとなっていましたが、補習中のH3の先輩からアドバイスを受けながら、H2主体となって準備を進めました。

当日は、クラスごとに企画した展示や、クラシックコンサート、模擬店、様々なフリー項目の発表などを通じて地域の方々や普段お世話になっている英国人の先生方と交流を深めました。

あっという間の一日。この経験がまたひとつ、新たな自分に出会うきっかけとなったのではないかでしょうか。

コロナ禍で  
来校できない方にも  
少しでも楽しんで  
もらえるように、  
今年も生徒たちが  
HPを作成しました！

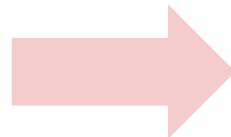
[2021 オープンデイ  
特別サイト](#)



# 立教グッズ企画進行中…！

昨年度のオープンデイで行われたフリー項目、「立教グッズ企画」の活動では、来場者の方々や生徒の投票によって、「学校シール」の商品化が決まりました。校内で選ばれたデザインを元に作られたシールは、今年のオープンデイで販売されました。赤・白・紺と、立教英國学院の校章の色が使われています。生徒だけでなく教職員も購入し、パソコンやスーツケースなど、各々お気に入りの場所にシールを貼っています。

## デザイン案



## 商品化



昨年度初の試みであったこのグッズ企画は今年も行われました。  
今年、投票によって選ばれたのは…

## 「ネクタイピン」

果たして、どのようなグッズが出来上がるのか…！  
乞うご期待！



# Halloween Party



毎日の食事を作ってくれているキッチンが、今年もハロウインディナーを用意してくれました。入口を進むと、各クラスの生徒がくりぬいてきた本物のかぼちゃや、小学生が作ったハロウインのオーナメントがお出迎え🎃

席につくと、仮装をしたシェフから本日のメニューについてのお話が。メインのソーセージは「Dragon's intestine（ドラゴンの腸）」と名前にも趣向が凝らされています。

バブル制度が緩和され、今年のハロウインは、小学生から高校生までが混ざって食事をとることができました。





毎年秋に行われていた全校写真撮影が2年ぶりに行われました。

全校生徒、全教職員、総計200名以上が1枚の写真に収まる全校写真 —— 昨年度はコロナ禍の為中止になりましたが、今年度は天気にも恵まれ、赤ネクタイの高校3年生を中心にまた一枚、いい写真が撮れました。

「この学校の全校写真はもう20年以上撮り続けているんだ。みんなお行儀が良くて写真も撮りやすいですよ。」

大きなトレーラーに200名用のやぐらを積んで毎年この時期に立教を訪れて写真撮影をしてくれる業者のおじさんがそう話してくれました。

「3・2・1、ハイ！」

おじさんの巧みな話術で全校生徒がにこやかに微笑んだところでシャッターが切られた時の写真 —— 毎年1枚ずつ増えていくこの大きな横長写真は教室棟の最上階ホールに飾られています。

コロナ禍の目まぐるしい一年を何とか切り抜けてきた元気な子どもたちの写真がまた1枚、このホールの壁に飾られることになります。



2年ぶり！

# 全校写真



# Christmas Dinner



立教英國学院の2学期最後の一週間は、夢のような早さで過ぎていきます。クリスマスディナーもその週の行事のひとつ！  
年を追うごとにキッチンの気合い度も上がって  
います🔥

席に着いたら「*Merry Christmas!*」と、クラッカーをみんなで引っ張ってお祝い。クラッカーの中に入っている冠を頭につけ、ローストターキーやピッグズ・イン・ブランケット、食べると1ヶ月幸せになれるというミンスパイなど、イギリスの家庭で出てくる伝統的なクリスマスの食事をいただきました。

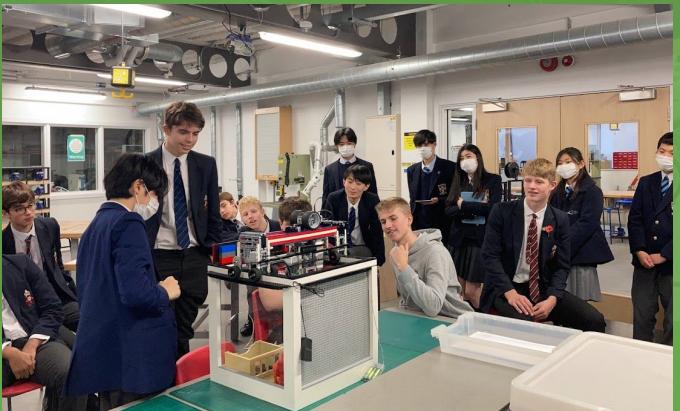




今年度設立された立教ロボットクラブがギルフォードにある名門校Royal Grammar School Guildford(以後:RGS)へ訪問し、今年度の制作物についてプレゼンテーションを行いました。

訪問は11月17日に行われ、RGSのDesign & Technologyという授業の先生と生徒に対して本クラブの生徒が発表をしました。結果は非常に好評で、来期はこのDTクラスと共同プロジェクトを開始することができそうです。

また、今回の発表後にはRGSの卒業生でオックスフォード大学にてロボット義手の研究開発を行っている研究者の方の講演をお聴きすることもできました。非常に学びの多い1日でした



# ROBOT CLUB

(高等部2年生 男子)

There was an exchange meeting between Rikkyo Robot Club and RGS the other day. We introduced our robots and how they can be used to solve social problems. We also made a video of the students' daily life at Rikkyo. We exchanged ideas with the RGS students on how to improve the robots. RGS has a technology class, and I was really inspired to learn that they use a different method of making robots than we do, such as using wood to make robots. We had a great time with the RGS students, not only introducing our robot club, but also exchanging opinions and working together.

先日、立教ロボットクラブとRGSの交流会がありました。私たちは自分たちのロボットを紹介し、それがどのように社会問題の解決に使われるかを紹介しました。RGSの生徒たちは、より良いロボットを作るためのアイデアを交換しました。RGSにはテクノロジーの授業があり、彼らは木を使ってロボットを作るなど、私たちとは異なる方法でロボットを制作していることを知り、とても刺激を受けました。RGSの生徒たちは、意見交換や共同作業など、とても楽しい時間を過ごすことができました。これからもロボットクラブを発展させていきます。



# PRIMARY

---

## -MINI OUTING-



立教生が楽しみしている行事のひとつ、アウティング。実は小学生は中高生より1回多く出かけることができます。コロナによってしばらく中止になっていたこのミニアウティングも、今学期ようやく再開。まだ立教のまわりにどういった所があるのか知らない子たちばかりということで、今回は近くの村や教会、自然保護地区を訪れ、ショッピングや大自然を満喫するプランとなりました。

イギリスの街はもうクリスマスマード。お店にはクリスマスのグッズやカードが溢れんばかりに並んでいます。目をきらきら輝かせながら、「お母さん喜んでくれるといいな～」「これは弟へのお土産！」と家族思いな一面ものぞかせました。



# 成長

今日は小学生限定のアウティングだった。正直、今回のアウティングは、これからもこの学校での思い出を作れる小学生より、高3の人たちに行ってほしかった。だから当日の朝、朝食を食べながら「僕達だけ楽しんでいいのか？」と思っていた。しかし高3の人は、「アウティング楽しんできてね。」と言ってくれた。そう言われて、気持ちが少し楽になった。だから今回行ったアウティングは存分に楽しめたと思う。

今回アウティングで一番印象に残ったことがある。それは、スーパーでの買い物だ。理由は自分が成長したと実感できたから。

僕は今学期ポピーアピールという募金活動に参加した。ポピーアピールとは、第一次世界大戦で犠牲になった兵士の遺族や戦争で傷を負った兵士などの支援に充てられる募金活動だ。また、募金をした人はポピーの花が描かれたグッズをもらうことができる。僕はポピーのピンバッジが欲しくて、その活動に参加した。しかし、ポピーのピンバッジは10個くらいしかなく、希少なものだから、£2払ってほしいと言われた。でも僕は間違えて£2硬貨二枚、つまり£4入れてしまった。たくさんの金額を寄付するのは良いことだけど、お金の使い方が未熟ということに気づいて、とても反省した。

そして迎えたアウティング。自分は硬貨の単位を間違えずに、£2を払えた。こんな小さいことでも、自分が成長できたことを実感できた。これからも日々の立教生活を楽しみながら成長していきたい。



(小学部6年生 男子)

# CAROLLING



学校の近くにある高齢者向け居住施設、Elmbriedge Villageに住む方々に、クリスマスソングや聖歌の歌声をプレゼントするキャロリング。聖歌指導の生徒を中心に練習を重ねましたが、残念ながら今年も直接歌を届けることはできませんでした。しかし、今回もケアホームの方々に動画を作成して贈り届けました。🎁

悔しい気持ちもありますが、H3の先輩たちの思いを胸に、「来年こそは。」とリベンジを誓った生徒たちです。

キャロリングの動画はこちら！ 🎃 →



# SCHOOL CONCERT



終業礼挙の前々日には、スクールコンサートが開催されました。こちらも久しぶりの開催とあって、みんなの表情が何だかちょっと固め。バックヤードでは音楽の先生から「Relax!」の一言が。「ふ～！」と深呼吸をして、いざステージへ！

今回は12組の生徒が歌や楽器の演奏を披露しました。普段の姿とはまた違う友達の一面に驚く生徒たち。皆、練習の成果を存分に発揮することができました。

せわしない学期末の中にあって、心温まる一夜となりました。生徒諸君、来年に控える、50周年記念コンサートに向けて、これからも鍛錬を積んでいってくださいね！





12月4日、第2学期終業礼拝が執り行われました。受験のために3学期はもう戻ってこない高校3年生の担任の先生方からは式辞が述べられました。長い間共に過ごした先生方からH3生たちへ、最後の授業です。ユーモアを交えながらも、愛溢れる言葉の数々に涙が止まりません。

ここでの生活は決して楽しいことばかりではなかったはず。しかし、それと同じくらい、いやそれ以上に得た学びは大きかったものでしょう。

イギリスでは、18歳はもう一人の大人として扱われる年齢です。決意を新たに「大人」への一步を踏み出してください！



第2学期

# 終業礼拝



# オープンディイ準備期間 オフショット



Rikkyo School  
In England

Official  
Home  
Page

[www.rikkyo.co.uk](http://www.rikkyo.co.uk)

## Information

ご意見・ご感想はこちらへどうぞ。

▶▶ [publicrelations@rikkyo.ac.uk](mailto:publicrelations@rikkyo.ac.uk)